



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年12月4日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

南関町子ども会「みんなでウォークラリー」

29日（日）は、南関町喜ばせ隊と子ども会のイベントに参加しました。南関二小をスタート・ゴールとするウォークラリーです。小学生とその保護者が1チーム4～8人のグループに分かれて、計28チームで行われました。



中には、玉東町からの参加もあり、楽しいイベントとなりました。大会を支えるスタッフは見た人ばかりで、ほとんどが南関中「大人も頑張る隊」の皆さんです。学校への貢献のみならず、地域を盛り上げて、町の子供もたちの健やかな成長のために頑張っている姿につくづく感心しました。

南関町喜ばせ隊も頑張りました！

この日は、ボランティアスタッフとして9人が参加しました。2つのポイントでゲームを行い、参加した子どもたちを楽しませました。



ゲームを行うだけでなく、会場準備や片付け、また焼き鳥を焼いたり貴重な経験もできました。イベント終了後の片付けでも、スタッフから「ごめん、トイレ掃除をお願い」と頼まれると、迷うことなく「はい、わかりました」と気持ちよく返事をして動く場面もあり、感心させられました。主催の人たちからも「本当に助かった」と、感謝の気持ちがよく聞かれました。「南関町喜ばせ隊」の取組は、生徒の良さを発見でき、地域の人と行動することでコミュニケーション能力が高まります。

今回協力してくれたのは、



2年 池田まこさん・鳥巣那津紀さん
3年 池田 心さん・河内杏加李さん
坂梨ひなたさん・宮島結華さん
池田麻衣さん・嶋村伶文さん
高原紅葉さん

9人の姿を見て、以下のようなことを感じました。

- ☆低学年児童や園児の年齢に合わせて、わかりやすい言葉でゲームの説明を行っていた。
- ☆落ち着いた子どもがいても、話をしっかり聞くような関わり方ができていた。
- ☆タイミングの良いアドリブで、子どもたちを笑顔にさせていた。
- ☆朝のスタッフ集合から「何か手伝うことはないでしょうか」と、前向きな姿勢を見せていた。そして、指示を待つのでなく気を利かして先に動く場面が多く見られた。

「今週は、三者面談の1週間」

3年生にとっては最終となる面談が実施されました。一人一人が目標とする高校と受験の仕方について、熱心に話し合われました。進路選択は、本当にこれで良いのかと迷うものですが、時間は限られています。早めに方向を決め、その実現に向けて最大の努力を重ねる方が有効です。3年生諸君、これからが正念場です。頑張ってください。



例年、高校入学後に高校生活で悩み、進路変更等を考える高校生がいるそうです。高校3年間頑張れるように、高校から中学生に以下のことをお願いされています。

- 1 中学校の時に体験入学や学校説明会等で希望校の情報を多く集める。
- 2 先輩の意見を聞いて参考にする。
- 3 早めに進路について考えて希望校を決める。
- 4 親子で進路についてしっかり話し合う。
- 5 高校に入学したあと、自分の適性や長所を理解する。
- 6 学習内容が理解できるように努力する。
- 7 より良い友人関係を築いて共に語り合う。
- 8 部活動などにしっかり取り組む。
- 9 校則の意義を理解する。
- 10 一人で悩まず周囲の友達や先生、親などに相談する。
- 11 将来のことを考えて、卒業後の進路について早めに決めて、10年後の未来を想像する。

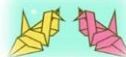
～ お知らせ ～

ホームページに

12月の「学校行事」・「部活動計画」掲載
ご確認ください。

2年生「平和学習」実施(12/3)

12月17日（木）～19日（土）に行われる修学旅行の事前学習のために、2年生では平和学習を行いました。この日は、戦争を体験された地域の方々をご案内しての講話です。3人共に、過去のことを思い出しながら内容を整理して、生徒がわかりやすいように準備されたようです。生徒のみならず、私たちも貴重な話を聞くことができ多くのことを学びました。本年度は、旅行地が鹿児島となります。鹿児島の知覧特攻平和会館を訪問したとき、きっと今回の話を思い出し、平和学習がさらに進むことでしょう。



講話された
松永欣子さん（左）
徳永ヨシ子さん（中）
宮尾洋一さん（右）